




「感謝」と「恩送り」と「不易流行」



おめでとうございます「」 教頭 平野 英雄

24日に第49回卒業証書授与式を行いました。厳粛な雰囲気の中、緊張や感動、今後の期待や不安など様々な感情を抱いていたであろう34名の卒業生は、穏やかな表情で、凛とした態度で式に臨みました。これまでお子様を慈しみ、あたたかく育てられた保護者の皆さまにおかれましては、心よりお祝いを申し上げますとともに、これまで本校の教育活動に多大なるご支援ご協力をいただき感謝申し上げます。また、この一年、子どもたちは学習や行事、日々の生活の中で、数え切れない程の場面で努力し、友達と共に乗り越えてきました。うまくいった日もあれば、悩み立ち止まった日もあったと思います。しかし、その一つひとつが「節目」として心に刻まれ、竹が節をつくりながらまっすぐ伸びていくように、子どもたちを強く、しなやかに成長させてくれることと思います。



ありがとうを形に「」

今年度、子どもたちからよく聞こえてきた言葉があります。それは「ありがとう」です。友達に助けてもらったとき、先生に励まされたとき。家で支えてもらったときはどうでしょうか？一つひとつの「ありがとう」が教室や学校全体にあたたかい空気を広げてくれました。感謝は目に見えませんが、人と人をつなぐ大きな力です。子どもたちが自然とその大切さを身につけていったことを、とても嬉しく思います。



つなげる優しさ「」

一年の終わりに、子どもたちに伝えたい言葉があります。それは「恩返し・恩送り」です。受けた優しさや支えを、受けた相手や次の誰かに返していくこと、それが「恩返し・恩送り」です。友達から受けた助けを、受けた友達のみならず別の友達へそっと向けていく。学校で学んだことを、下級生にやさしく伝えていく。お家でもらった支えを、言葉や行動で表していく。そうした行動が積み重なって、皆があたたかくなっていくのだと思います。



大切なもの「」

さらに今年度は「不易流行」という言葉の大切さを改めて感じる一年でもありました。不易とは、いつの時代も変わらない価値であり、流行とは、時代の変化に合わせて新しく取り入れていくことです。教育には、この両方が必要です。子どもたちは、昔から大切にされてきた思いやりや礼儀を守りながら、タブレットを使った学習や新しい表現方法等、流行にあたる新しい学びにも積極的に挑戦してきました。不易と流行、その両方を大切に作る姿勢はこれから先、子どもたちが社会の中で力強く生きていくための支えとなるはずで



来年度も「 」

卒業や進級を迎えるこの節目は、これまでの歩みに一区切りをつけ、新しい一歩を踏み出す大切な時期であると思います。積み重ねてきた節が確かな力となって、次の季節へと伸びていくことを願っています。そして、その成長を支えるのは、感謝の心、恩返し・恩送りの姿勢、そして変わらない大切さと新しさを見つめる視点であると思います。

保護者の皆様には、一年間さまざまな形で学校を支えていただきました。行事や学習へのご協力、温かな励ましの言葉、日々の見守り。そのすべてが、子どもたちにとって大きな力となりました。改めて深く感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。

新しい年度が、子どもたち一人ひとりにとって、実りあるものとなりますように強く願っています。

# 春休みの過ごし方

修了式後の講話において、安心・安全な冬休みを過ごすために気を付けることを、子どもたちと約束します。以下の内容はその具体的な内容です。学校とご家庭と同じ「合言葉」であると、より子どもたちの意識が高まりますので、ご活用ください。

**合言葉は「はるやすみ」!**

**は** やね 早起き朝ごはん  
生活リズムをくずさないよ  
うにしましょう。



**る** ーるを守ろう!  
特に交通ルールを守り事故や  
けがをしないようにしましょう。



# はる やすみ

**や** っておこう!  
新年度の準備です。  
学習用具の確認・準備  
をしましょう。



**す** すんでお手伝い  
お家の方にも日頃か  
らの感謝を伝えま  
しょう。



**み** んな元気にす  
ごして4月8日に  
会いましょう!



繰り返し思い出して、有意義な春休みにしていきましょう!!!



安全マークを  
確認しよう!

独立行政法人  
国民生活センター



自転車の乗車用ヘルメット等に関する国民生活センター資料

[PUSH講習の申し込みページ | さいたま  
PUSH \(vital-net.or.jp\)](https://vital-net.or.jp)

